



11月園だより



ようとう保育園
TEL028-612-2461
2019年10月31日

朝夕は肌寒く感じますが、全身を使ってあそぶ子どもたちの体は、汗ばむ位元気にあそんでいます。園庭のドングリの実が緑から茶色になっていく様子をみながら、秋に近づいていることを肌で感じ楽しんでいきます。気候に合わせて快適に過ごせるように、着脱のしやすい衣服のご用意をお願いいたします。

- 1日 定期健康診断（後期）
- 5日 航空写真撮影
- 14日 さくら組 食育遠足
- 15日 さくら組 保育参観
- 20日 誕生会
- 27日 消防避難訓練

※行事・活動の様子はホームページ「ようとう保育園」【ブログ】【ギャラリー】に掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



クラスの様子



つくし組

園庭に出ると砂で型押しをして、その上に落ち葉をのせ崩したり、小石を見つけては容器に入れ、揺らし音を出して喜んでいる子もいますが、園庭探索をして歩行を楽しむ子も増えてきました。室内でハイハイや高ばい歩行など、それぞれ行動範囲も広がり、育みの庭で柵につかまり、外気浴や保育士とのふれあひあそびをして、ゆったりと過ごしています。

ねらい
指差しや喃語、一語文などで気持ちを表現しながら保育士とのやりとりを楽しむ。

たんぽぽ組

虫が大好きな子どもたち。散歩先で見つけたバッタやテントウムシに大喜び。「むし、いた!」「ばっぱ(ばった)！」など指差しを交えながら、簡単な言葉で保育士に発見を伝えていました。はじめは保育士が手に乗せた虫を、後ずさりしながら見ていた子どもたちでしたが、何度か虫を見つけるたびに慣れ、手に乗せたり、触れるようになってきました。今後も子どもたちの発見や気づきを大切にしていきたいと思えます。

ねらい
保育士や友だちと一緒に体を十分に動かすあそびを楽しむ。

つばめ組

園庭で体を沢山動かしてあそぶことが大好きで毎日「おそと行く?」と嬉しそうに保育士に尋ねてきます。様々なあそびを保育士や友だちと一緒に楽しむなかで、少しずつ平均台をバランスをとって一人で歩けるようになってきたり、ボールを上手に蹴ることができるようになってきました。そういった姿に日々成長を感じます。

ねらい
自分でできることに喜びを感じ、簡単な身のまわりのことを自分でしようとする。

うぐいす組

忍者からの手紙が届いたうぐいす組。橋渡りの術、くぐり抜けの術やでんぐり返しの術…そして落ち葉を拾ってきたの隠れ身の術と沢山の修行に取り組み、忍術が合格したらもらえる手裏剣ゲットを目指して楽しみながら頑張っています。こんな忍者の修行はまだまだ続く予定です。今までは園庭では泥だんご作りを楽しむ子が多かったのですが、最近ではコロコロドッチボールや保育士も本気になっての氷鬼と、ルールのあるあそびを楽しんでいます。これからも少しずつルールのあるあそびを沢山楽しめるようにしていきたいと思っています。

ねらい
身近な秋の自然に触れながら季節を感じたり、あそびにとりいれたりしながら色々な楽しむ。

ふじ組

バスに乗って初めて出掛けた宇都宮動物園への遠足。バスが園に来ると「バスだー!」と大興奮の子どもたち。動物園では動物の名前を呼んで「こっちみた!」と意思疎通を図る可愛い姿がみられました。公共のマナーを守ったり、譲り合ったり、友だちと仲良くお弁当を食べたりして、より一層友だちとの絆が深まった楽しい遠足となりました。

最近では、音楽会ごっこや似顔絵を描いたり、芸術の秋を満喫しています。

ねらい
友だちとイメージを共有しながら一緒に表現したりごっこあそびを楽しむ。

さくら組

跳び箱や鉄棒など運動あそびに挑戦している子どもたち。少し難しそうだなあと思うことでも繰り返し頑張る姿が見られます。「○○ちゃん、頑張れ!!」と自然と友だちから声援が。目標が達成できた時は「すご〜い」とみんなで喜んでいました。ワールドカップの影響でちょっとしたラクビーブーム。みんなでようとうバージョンにルールを決めて盛り上がっています。国名を知ったり、トライやゴールの点数を足し算したり・・・体を動かしながら色々なことに興味関心を広げています。

ねらい
共通の目的やイメージをもち、友だちと一緒に、あそびや生活を進める楽しさを味わう。